



<b>9 対応性・更新性</b>			4.0	0.29	-	-	4.0	
<b>3.1 空間のゆとり</b>			5.0	0.31	-	-		
1 高さのゆとり		経営者の方針による。	5.0	0.60	3.0	-		5.0
2 空間の形状・自由さ		経営者の方針による。	5.0	0.40	3.0	-		5.0
<b>3.2 2重のゆとり</b>			3.0	0.31	-	-		3.0
<b>3.3 設備の更新性</b>			4.1	0.38	-	-		
1 空調配管の更新性			3.0	0.17	-	-		3.0
2 給排水管の更新性			3.0	0.17	-	-		3.0
3 電気配線の更新性		仕上はスケルトン。また、配線ラックを設けている為。	5.0	0.11	-	-		5.0
4 通信配線の更新性		同上	5.0	0.11	-	-		5.0
5 設備機器の更新性		同上	5.0	0.22	-	-		5.0
6 バックアップスペース		余裕スペースを広く残している為。	4.0	0.22	-	-		4.0
<b>Q-3 置外環境(敷地内)</b>			-	0.40	-	-	3.1	
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			3.0	0.30	-	-	3.0	3.0
<b>2 多様な生物・動物への配慮</b>			3.0	0.40	-	-	3.0	3.0
<b>3 地質・水文・気候への配慮</b>			3.5	0.30	-	-	3.5	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-		3.0
3.2 敷地内温熱環境の向上		20%以上の緑地を確保。さらに、植栽可能なゾーンも設けている。	4.0	0.50	-	-		4.0
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	3.2	
<b>LR-1 エネルギー</b>			-	0.40	-	-	3.0	
<b>1 建築物の動員費抑制</b>			3.0	0.29	-	-	3.0	0.0
<b>2 自然エネルギー利用</b>			3.0	0.50	-	-	3.0	
2.1 自然エネルギーの直接利用			3.0	0.29	-	-		0.0
2.2 自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50	-	-		3.0
<b>3 設備システムの高効率化</b>			3.0	0.43	-	-	3.0	1.0
<b>4 効率的運用</b>			3.0	0.29	-	-	3.0	
4.1 エネタリング			3.0	0.50	-	-		3.0
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-		3.0
<b>LR-2 資源・マテリアル</b>			-	0.30	-	-	3.3	
<b>1 水資源確保</b>			3.0	0.15	-	-	3.0	
1.1 節水			3.0	0.40	-	-		3.0
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60	-	-		
1 雨水利用システム			3.0	0.67	-	-		3.0
2 雑排水利用システム			3.0	0.33	-	-		3.0
<b>2 資源確保</b>			3.4	0.85	-	-	3.4	
2.1 資源の再利用効率			4.0	0.35	-	-		
2.1.1 再生材の再利用効率		再生骨材の採用。	4.0	0.67	-	-		4.0
2.1.2 非構造物材の再利用効率		二重床、天井断熱材等。	4.0	0.33	-	-		4.0
2.2 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.04	-	-		3.0
2.3 有害物質を含まない材料			4.0	0.08	-	-		4.0
2.4 長寿命建築部品などの再利用		接着剤、塗料等。	3.0	0.18	-	-		3.0
2.5 部材の再利用可能性			3.0	0.18	-	-		3.0
2.6 フロン・ハロンの回避			3.0	0.18	-	-		
1 消火剤			3.0	0.33	-	-		0.0
2 断熱材			3.0	0.33	-	-		3.0
3 冷媒			3.0	0.33	-	-		3.0
<b>LR-3 敷地外環境</b>			-	0.30	-	-	3.3	
<b>1 大気汚染防止</b>			5.0	0.15	-	-	5.0	5.0
<b>2 騒音・振動・熱気防止</b>			3.5	0.33	-	-	3.5	
2.1 騒音			3.0	0.33	-	-		3.0
2.2 振動		工場内は振動機器なし。	5.0	0.33	-	-		5.0
2.3 熱気			3.0	0.33	-	-		3.0
<b>3 風害・日照障害の抑制</b>			3.0	0.15	-	-	3.0	
3.1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-		3.0
3.2 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-		3.0
<b>4 光害の抑制</b>		工場内から西側(住宅地)に漏れる光(外壁反射光を含む)なし等	4.0	0.10	-	-	4.0	4.0
<b>5 温熱環境低減の改善</b>			2.0	0.30	-	-	2.0	2.0
<b>6 地域システムへの負荷抑制</b>			3.7	0.15	-	-	3.7	
6.1 雨水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-		3.0
6.2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-		3.0
6.3 交通負荷抑制		敷地内でゆつたり動線計画(車両等)ができています。	5.0	0.25	-	-		5.0
6.4 廃棄物処理負荷		経営者の方針による。	4.0	0.25	-	-		4.0
<b>■ LR-1 用途別点検表</b>								
		工場	-	-	-	-	評価区分	
		2494	nt	-	-	-	総合スコア	
<b>1</b>	<b>建築物の動員費抑制</b>		-	-	-	-	-	
<b>3</b>	<b>設備システムの省エネルギーによる評価</b>		-	-	-	-	-	
	<b>高効率化</b>		-	-	-	-	-	1.0
	<b>個別設備による評価</b>		1.0	-	-	-	-	
<b>3.1</b>	空調設備		-	-	-	-	-	
<b>3.2</b>	換気設備		-	-	-	-	-	
<b>3.3</b>	照明設備		1.0	-	-	-	-	
<b>3.4</b>	給排水設備		-	-	-	-	-	
<b>3.5</b>	昇降機設備		-	-	-	-	-	